

言葉磨き（教師の発問、共感、児童生徒のつなぎ発言等）は、児童生徒の思考を深めることに有効であったか。

○成果

- ・プレートをつくり発表内容をまとめたことでポイントが絞れた発表になった。
- ・各班、ペアで画像を見ながら自分の考えを出し合っていた。
- ・これまで学習したことを活用し思考していた。
- ・「小屋浦」を発表したグループの解答について、答えを再度確認して訂正する過程が良かった

●課題

- ・画面を見てしまい、聞いている人にむいて発表できていなかった。
- ・時間が足りなかったため、今回の授業を2時間扱いにできないか。
- ・ペアで学習する場面と、4人で学習する場面の体形を変えても良いのではないか。

改善のポイント

- ・時間に余裕をもたせるために、2時間扱いにすることを検討する。

I C Tの活用は児童生徒の思考や理解を深めることに有効であったか。また、児童生徒の主体的に学ぼうとする意欲を高めたか。

○成果

- ・2画面表示が有効だった。積極的に取り組んでいた。
- ・写真と等高線、被害前と被害後の比較ができる教材であった。
- ・視覚的にわかりやすく、被害の原因を考えるうえで、生徒の多様な意見が出された。
- ・土砂災害対応マニュアルを活用できた。
- ・I C Tの活用と授業の深まりがマッチングしている。地図や航空写真など学んだ知識を使って地元の地形を読み取って危険個所を考えていた。

●課題

- ・等高線（地形図）の見方を、もっとしっかり教える必要がある。
- ・作業手順が多くて、作業に集中してしまう生徒もいた。内容を2時間くらいに分けてあると一人一人I C Tを活用してしっかり考えられたのでは？

改善のポイント

- ・地形図の見方をしっかり教えた上で取り組むようにする。